

泉崎村まち・ひと・しごと創生《地方創生加速化交付金》実績評価シート

平成 29 年度分		担当課	中央公民館					
事業名		泉崎村魅力発見発信事業						
事業の概要・目的		<p>鳥峠の魅力を再発見するための自然観察学習やオリエンテーリングなどの指導者の養成、実行委員会を組織して鳥峠頂上にて伝統芸能の発表会などを開催。鳥峠稲荷神社本殿の保全整備。泉崎駅東口の整備を図り、利用者の増加と村観光資源の活用や人の流れ誘客を図るため、駅東口周辺の整備計画の策定をする。</p> <p>今後、これらの施策を基礎として、周辺地域で就業しても生活の場として泉崎村が選択されるよう、村の自然環境を活かしつつ、住まいの確保や交通利便性の向上を図っていく。また、結婚や子育ての前提となる住まいの確保への支援、さらには、スポーツ施設や文化財等の村の観光資源の魅力向上に努め、多様な情報発信を進めていく。</p>						
交付金を充当する事業経費								
個別事業名 1		鳥峠を中心とした各種取組						
最終予算額		500,000 円			決算額	415,874 円		
目標事項 ・進捗状況	目標事項	鳥峠等案内人の養成研修会開催件数						
	K P I	2 回 (29 年 3 月)、5 回 (32 年 3 月)						
	現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考	
	数 値	0	0	1	2			
	達成率	—	0%	20%	40%			
目標事項 ・進捗状況	目標事項	魅力発信に係る大会イベントの開催						
	K P I	2 回 (29 年 3 月)、5 回 (32 年 3 月)						
	現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考	
	数 値	0	0	7	6			
	達成率	—	0%	140%	120%			
目標事項 ・進捗状況	目標事項	村伝統芸能継承者数 (団体数)						
	K P I	2 団体 (29 年 3 月)、4 団体 (32 年 3 月)						
	現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考	
	数 値		2	2	2			
	達成率		50%	50%	50%			
事業の概要	計画 (P)	<p>幼小中学生の泉崎発見、人々の関心が高い健康増進のための遊歩道整備や、「森の案内人」を活用した自然観察学習、オリエンテーリング、さらには、実行委員会を組織し、鳥峠頂上にて伝統芸能の発表会などを行い、村外の多くの方々に広く PR をし、村民の憩いの場としての再認識を図る。併せて、神社本殿に存する村指定文化財の保全活用活動も行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師謝金及び事業に係る食料費 250 千円 ・鳥峠管理経費及び魅力発信事業等経費 250 千円 						

具体的な取組	実施(D)	【講師謝金及び事業に係る食料費】 鳥峠の自然の魅力を知ってもらうために、自然観察会を行い頂上では子供たちにカレーを食べてもらった。 ① 4 / 8 鳥峠かたくり祭り開催 250名 ② 6 / 12 泉崎第2小学校自然観察会 4年生29名 ③ 6 / 20 泉崎第2小学校樹木名札付け ④ 6 / 28 泉崎第1小学校樹木名札付け ⑤ 7 / 20 鳥峠林道草刈り ⑥ 7 / 26 夏休み親子自然観察会 22名 ⑦ 8 / 18 村内教職員自然観察会 20名 ⑧ 11 / 6 泉崎第2小学校自然観察会(2回目) 29名 ⑨ 11 / 16 泉崎第1小学校自然観察会 40名 ⑩ 11 / 28 中学校名札付け 10名 ⑪ 3 / 10 鳥峠清掃活動 20名 【鳥峠管理経費及び魅力発信事業等経費】 鳥峠の維持管理のための道具を購入して、草刈りの実施やトイレの目隠しを設置した。	
		29年度	改善(A)
委員会意見	30年度における取り組みなど 村内だけではなく村外の人にもPR出来るイベントを開催する。 かたくり祭りを単年だけでなく通年の事業にして鳥峠をPRする。		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉崎村まち・ひと・しごと創生《地方創生加速化交付金》実績評価シート

平成 29 年度分		担当課	産業グループ					
事業名		泉崎村魅力発見発信事業						
事業の概要・目的		<p>鳥峠の魅力を再発見するための自然観察学習やオリエンテーリングなどの指導者の養成、実行委員会を組織して鳥峠頂上にて伝統芸能の発表会などを開催。鳥峠稲荷神社本殿の保全整備。泉崎駅東口の整備を図り、利用者の増加と村観光資源の活用や人の流れ誘客を図るため、駅東口周辺の整備計画の策定をする。</p> <p>今後、これらの施策を基礎として、周辺地域で就業しても生活の場として泉崎村が選択されるよう、村の自然環境を活かしつつ、住まいの確保や交通利便性の向上を図っていく。また、結婚や子育ての前提となる住まいの確保への支援、さらには、スポーツ施設や文化財等の村の観光資源の魅力向上に努め、多様な情報発信を進めていく。</p>						
交付金を充当する事業経費								
個別事業名 3		移住者限定・賃貸住宅斡旋に関する取組						
最終予算額		2,148,000 円			決算額	1,841,699 円		
目標事項 ・進捗状況		目標事項	田舎暮らし体験プロジェクト参加者数（世帯数）					
		K P I	5 世帯（29 年 3 月）、10 世帯（32 年 3 月）					
		現状値	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	備考
		数 値	0	0	0			
		達成率	0%	0%	0%			
事業の概要	計画（P）	<ul style="list-style-type: none"> 若者世代の定住者を増やすため、村の分譲地である天王台ニュータウン及び譲渡型賃貸住宅の PR 活動を行う。（ショートステイ、田舎暮らし体験プロジェクトを含む） 						
具体的な取組	実施（D）	<ul style="list-style-type: none"> 定住促進戸建住宅（賃貸型戸建住宅）の募集チラシ（31,500 枚）を作成し、近隣市町村に新聞折り込みなどで配布することにより PR 活動を行った。また、テレビ放映（県内）による周知も行った。 326,700 円 天王台ニュータウン PR のため B1 サイズのポスターを作成し、首都圏駅構内に掲出した。 ※お盆と年末年始の 2 回掲出。住宅特別会計予算 293,760 円 移住希望者（e-村民）に泉崎村をもっと知ってもらい、村民との交流を図るため、バスツアー、そば打ち交流会、餅つき交流会を行った。住宅特別会計予算 1,221,239 円 						

29年度	評価 (C)	29年度評価	
		担当課 評価	・定住促進戸建住宅(賃貸型戸建住宅)は現在募集中の段階ではあるが、 昨年に比べて問合せが増え、興味を持つ方が多くいると感じる。
		B	
	改善 (A)	30年度における取り組みなど	
		<ul style="list-style-type: none"> ・田舎暮らし体験や村民との交流会を実施し、泉崎村をより詳しく知ってもらうことにより移住者を増やす。 ・ポスター掲出による PR 効果が薄いと感じるため、駅構内のビジョンにて PR 動画を放映する。 	
	委員会 意見	評価等に対する意見	
委員会 評価		総合戦略のK P I 達成に有効であった。	
		B	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。